

石淵ダムニュース

平成23年11月2日
第22号

ダムマイスターが石淵ダムを訪問

10月22日(土)に「ダムマイスター」※の方々が研修で石淵ダムを訪問しました。当日はあいにくの雨模様でしたが、残りあと一年となった石淵ダムを記録にとどめようと、カメラを手にとり写真撮影を行ったり、石淵ダムへの思いなどを語っておられました。

※ダムマイスターとは

広く一般の方々に、ダムの実態、役割、魅力などについて知って頂くために、その仲立ちをしてもらえるような方(知識があり、活発に活動をしている人)を、(財)日本ダム協会がダムマイスターに任命するというものです。



堤体下流ロック材



ダム天端及び排水塔

石淵湖周辺の紅葉



石淵ダム管理支所ではダム湖周辺に異常(法面崩落、水質異常など)が無いのか、毎週ダム湖周辺の巡視をおこなっています。その途中で周辺の紅葉が撮影できましたので、写真をお届けします。

11月2日現在、紅葉も終盤を迎えておりますが、天気の良い日には、石淵湖や焼石連峰を見に出かけてみてはいかがでしょうか？

(国道397号は11月14日(月)12時から奥州市胆沢区若柳平七沢～秋田県境までの間で通行止めの予定になりますので、お早めに！)



猿岩



木々の様子



国道397号線

石淵ダムの記録 (第2回)

残り約1年で管理を終える石淵ダムのこれまでの歴史を連載で振り返っています。第2回は、第1回に引き続いて建設当時の写真を紹介します。(今回はその他の記事と関連した箇所の写真を掲載しています。)



昭和25年に行われた猿岩の発破は56トンの爆薬を使用した稀にみる大爆破工事でした。



ダム天端及び排水塔の写真になります。照明灯が時代を感じさせるものです。



堤体下流面のロック材と排水塔の写真になります。ロック材がきれいに整列しています。



放流ゲート本体等の主設備については製作当時のまま、現在まで使われています。

放流設備の点検を行います



石淵ダムでは、11月8日(火)から11月18日(金)にかけて放流設備の点検を行います。(天候により作業日程が変更になる場合があります。)

放流設備にはクレストゲート4門、オリフィスゲート2門の計6門があり、詳細な点検を年1回行い、必要に応じて各部の補修を行い、昭和28年のダム完成から、現在まで機能維持を図っています。

点検期間中には、普段なかなか見ることができない、ゲートが全開になる様子を見ることができまので、興味のある方は見学に来てはいかがでしょうか？



放流設備の点検状況

胆沢平野の安全と暮らしを支える「石淵ダム」

〒023-0403

奥州市胆沢区若柳字尿前1-9
北上川ダム統合管理事務所
石淵ダム管理支所

TEL 0197-49-2211
FAX 0197-49-2255